

新たな町づくりを推進するために

9月定例会で各常任委員会に付託された議案の審議内容(抜粋)

総務厚生常任委員会

●令和元年度大崎町一般会計補正予算(第3号)

◇特定野菜等供給産地育成価格差補給事業負担金(2万9千円)

質…特定野菜には、説明のあったキュウリ以外にどのような作物があるのか。また総体でどのくらいの補償になるのか。

答…特定野菜の作物は他にナス、ピーマン、ニンジン、秋冬ネギがある。令和元年度の冬春キュウリの予約量は、435トン、補償金額で1709万4千円を積み立てる事になり、この72分の1を大崎町が負担する事になる。対象者としてはおお鹿児島農協のキュウリ部会の会員17人である。

◇燃ゆる感動かごしま国体大崎町実行委員会補助金(624万5千円)

質…ビーチスポーツ会場の道路沿いの長さ160メートルの法面に常設による2段の階段を作り、そこを観客席として利用し、一部に車椅子スペースを設ける計画であるとのことであるが、車椅子のスペースは縦横何メートルで何箇所設置する予定なのか。

答…施工箇所は160メートルのうち110メートルほどである。現在の計画では、幅4メートル、奥行き2メートルを想定しており、設置箇所については1箇所である。

要望…車椅子のスペースをあと2箇所ぐらいは増やした方がいいのではないかと。また、設置場所にはステンレス製の転落防止の柵を設置し、幅が4メートルあるのであれば外枠だけではなくて、車椅子の利用者の意向を踏まえながら利便性に優れた施設になるよう検討することを要望した。

◇国際しごと・人材育成センター設立支援事業委託料(1883万6千円)

質…SDGsによる総合戦略を策定することであったが、その

計画の中には、地域に住んでいる住民の意見が反映されないといかないと思うがどうか。

答…次期総合戦略の策定にあたっては、何段階かのプロセスを経て策定する事としており、準備段階では、住民の方々を始め、外国の方、あるいは各種団体の方々の意見を踏まえ、ワーキンググループを組織し、そこで叩き台作り、次に部会ごとに分かれた準備委員会で協議を行い最終的に推進会議において協議する予定である。また、推進会議のメンバーには、商工会、JA、教育関係の方、青年会議所、金融機関、ハローワークの方、女性代表の方など10名を予定している。

文教経済常任委員会

●令和元年度大崎町水道事業会計補正予算(第1号)

質…窓口業務の負担軽減という観点から、コンビニ収納をもっと周知すべきではないか。

答…コンビニ収納の周知については非常に大事であると考えてるので、今後、広報紙などを活用しながら啓発に努めていく。

質…消費税及び地方消費税の税率が10月1日から10パーセントに引き上げられるが、水道料金の見直しは考えているのか。

答…消費税及び地方消費税の税率が8パーセントから10パーセントに引き上げられる予定であるが、水道料金については、令和2年1月以降に請求する料金から、税率10パーセントで料金計算を行っていくことになる。